

5. 東海（地域別調査機関：（株）UFJ総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・客の購買意欲が出ており、顔つきも明るくなっている。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・来客数が急激に増えている。
	やや良く なっている	旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・客の雰囲気は良くなってきている。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・電化製品の省エネ化が進み、古い物を使い続けるより、物によっては買い替えたほうが経済的であることが客に浸透してきている。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	お客様の様子	・客の購買行動で、以前はシビアに必要な数だけを購入していたが、今は気軽に商品を買うようになっている。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・異常な猛暑と大型台風の来襲に見舞われ、観光客の出足は前年比5%鈍化している。しかし個人消費は、客の購買量からみると回復基調にある。
		一般小売店〔わさび漬〕（経営者）	お客様の様子	・客単価は低いままだが、買上点数が少し増加している。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・来客数は1.5%程度増加しており、客単価も2%程度上昇している。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・猛暑のため飲料の動きが良い。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・残暑が続いているため、全般的に販売量は好調である。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・8月前半は活発な動きであるが、お盆明けから戻すばみで、トータルでは前年比微増である。価格帯は分散しており、客の様子も多様化している。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・来客数の増加とともに、購入決断を早める客が増えている。今後の景気の見通しの明るさが要因のひとつである。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・夏の暑さとオリンピックの影響で、かなり景気の良い状況である。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・4～6月期に比べ、販売数量が上向いている。
		乗用車販売店（従業員）	競争相手の様子	・他社は良い状況のようである。当社も例年の8月と比べてあまり動きがないが、悪い状況ではない。
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・お盆まではそれほど来客はないが、月末から賑わっている。また法人からの引き合いも多くなり、受注に至らないまでも商談件数は最近にはない数である。自社や他社でも新型車が発売されるため、これからを期待している。
		その他小売〔貴金属〕（経営者）	販売量の動き	・夏休みやオリンピックで開放感があり、購買力が以前と比べやや上昇している。しかし、単価は低い。
		都市型ホテル（経営者）	単価の動き	・ホテルの売上などにはそれ程変化がないものの、客の動きをみていると景気回復が感じられる。
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・店頭をリニューアルしてイベントを1週間実施しているが、通常の2倍近い客が来店し旅行を契約している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・猛暑の影響で客が増えている。特に病院通いの中高年の客がよく利用している。またお盆前後は、海外旅行や国内旅行に出かける際にタクシーを利用する客が前年より増えている。
		通信会社（企画担当）	販売量の動き	・オリンピック効果があるのか、キャンペーン終了直後にもかかわらず新規加入の落ち込みがない。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・住宅ローン減税の縮小に伴う駆け込み受注が少し増えている。
住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・家賃収入による生活資金の補てんを図って、土地を所有している年金生活者がアパート、マンションを建設している。		
変わらない	一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・久しぶりに決算セールを実施したが、本当に欲しいものだけをよく考えて買う客が多く、売上は伸びていない。	

一般小売店 [酒] (経営者)	販売量の動き	・ 8月半ばまではチューハイ、発泡酒や缶ジュースがよく売れているが、単価の低い商品のため売上にはあまり貢献していない。
一般小売店 [薬局] (経営者)	販売量の動き	・ 栄養飲料は何とか売上が伸びているが、殺虫剤関連はさっぱりである。化粧品は、美白関連は順調であるが、暑いいためか来客数は伸びていない。
百貨店 (売場主任)	お客様の様子	・ バーゲンは好調であるが、暑い日が続く、秋冬物の問い合わせは例年より少ない。秋物は9月に入って涼しくなってきたという客が多い。
スーパー (経営者)	それ以外	・ 大手スーパーでは景気の良い話もあるが、中小ではとても景気が良いとは見えない。
スーパー (店長)	お客様の様子	・ この地区では漁獲量の不振と暑さの影響で、買い控えが目立っている。お盆用のご盛りは、昨年と比べ各家庭で飾る数が減っている。
スーパー (店長)	単価の動き	・ 来客数は引き続き若干増加しているが、単価は相変わらず低下傾向である。単価の低下に来客数の増加が追いついていないという状況は変わっていない。
スーパー (店長)	単価の動き	・ 客単価は依然95%前後の推移で回復感がない。中元商品の単価も前年比95%前後である。お盆用の大型商品の動きも悪く、例えば寿司は1、2人前の動きは良いが、3～5人前は前年を大きく下回っている。
スーパー (店員)	単価の動き	・ 売上、来客数とも変化がない。
スーパー (仕入担当)	来客数の動き	・ 日中が暑すぎて来客数が減少している。暑すぎるため、手の掛からない惣菜などの食品が売れるが、調理や熱を必要とする食品の動きが悪い。生鮮食品で客単価は前年に比べ4～5%低下しており、依然厳しい売上が続いている。
スーパー (経営企画担当)	販売量の動き	・ 台風の影響で販売量が減少している。
コンビニ (経営者)	販売量の動き	・ 天候にも恵まれ、ビール、発泡酒や飲料水は好調であるが、中元商品は前年比で15%程悪くなっている。中元は特に法人関係で単価、点数とも減らしているところが多く、なくしているところもある。店全体の販売量は前年並みに落ちている。
コンビニ (エリア担当)	販売量の動き	・ 月初の台風、下旬の雨と天候に恵まれていないが、季節物を中心にほとんどの分野で動きは良好である。しかし、肝心のファーストフードの動きはやや鈍い。
コンビニ (エリア担当)	それ以外	・ 既存店の売上の前年比は96%台と悪化している。客の購買意欲も良くなっていない。
コンビニ (エリア担当)	販売量の動き	・ お盆は好天にも恵まれ大幅に売上を伸ばしている。しかしお盆の前後は、天候も良く昨年と比べて気温も高いが、全てのカテゴリーで販売量はいま一歩である。
コンビニ (エリア担当)	販売量の動き	・ 6、7月は空梅雨、猛暑のため、販売数はかなり伸び、特に冷たい飲食料が伸びた。8月も暑かったが客は暑さに慣れており、昨年と同じ気温の日には販売数は逆に減少している。特にアイスクリーム、ソフトドリンクが減少している。
コンビニ (店長)	販売量の動き	・ 今月は来客数で前年比を若干下回っているが、1人当たりの買上げ個数は増えている。全体の売上は、前年をほんの少し上回っている。
コンビニ (店長)	来客数の動き	・ 冷夏の前年とほぼ同じ数字で、あまり良い印象はない。
衣料品専門店 (企画担当)	販売量の動き	・ 定番商品は動いているが、バーゲンの動きが一部を除いて非常に悪い。
家電量販店 (経営者)	お客様の様子	・ お盆商戦においても客の買物は相変わらず慎重である。例年なら8月12、13日頃から売上は増加するが、今年は猛暑のため14日がピークになっている。売上は例年に比べて微減である。
自動車備品販売店 (経営者)	来客数の動き	・ 土日に人が集まらなくなっている。駐車場も一杯になることはない。車検でも最低限必要な部品の交換に終わっている。安ければ安いほど良いという客の心理が働き、安全性よりも価格が優先されている。

乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・新型車の発売による新車効果から来客数と受注台数は前年を上回っており、店頭にも活気がある。しかし販売計画を上回ることできていない。さらに車両販売価格の低下に伴う利益の減少も大きく、景気が良くなっているという実感は持てない。	
住関連専門店 (営業担当)	販売量の動き	・少子化も背景にあり、住宅は横ばいまたは減少傾向である。ファッションビルなど設備投資は伸びているが、競争激化で厳しい状況である。	
一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・夏休みなのにファミリー客はあまり増加していない。しかし、平日にちらほら見かけることもある。	
都市型ホテル (支配人)	単価の動き	・宿泊単価を少しでも上げると売れなくなる。他ホテルも低い料金設定の様子である。	
都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・宿泊の稼働率は依然として伸びているが、レストランの来客数が増えていない。	
旅行代理店(経営者)	来客数の動き	・来客数に特に動きはみられない。	
旅行代理店(経営者)	競争相手の様子	・依然として低単価が収益を圧迫している。利益率の良い商品の販売を目指してもなかなか難しい。	
旅行代理店(従業員)	単価の動き	・旅行業は薄利多売であるが、客単価が低下しているため、販売高がなかなか伸びず苦しい。	
タクシー運転手	来客数の動き	・お盆前後の客の動きは、昨年8月と比べてほとんど変わっておらず、あまり良くない。	
テーマパーク (職員)	来客数の動き	・来客数の動きに大きな変化はみられない。	
ゴルフ場(企画担当)	来客数の動き	・暑さのせいか入場者数が伸びない。売上高も伸び悩んでいる。料金を値下げしても厳しい状態が続いている。	
パチンコ店(経営者)	販売量の動き	・販売量に変化はみられない。	
パチンコ店(店長)	来客数の動き	・お盆の来客数と客単価は、例年に比べるとばらつきがある。また、お盆前後の来客数と客単価はここ数か月とさほど変わらない。	
美容室(経営者)	来客数の動き	・客の来店サイクルがかなり長くなっている。	
やや悪くなっている	商店街(代表者)	販売量の動き	・お盆の期間中は例年通りの忙しさである。しかし、お盆前後が不調で、販売量は若干だが悪い。
	商店街(代表者)	お客様の様子	・猛暑で商店街への来客数は減っている。また当和菓子店にとっても暑さは良い影響を与えていない。
	一般小売店[時計](経営者)	来客数の動き	・オリンピック観戦の影響か、来客数や売上は伸びていない。
	百貨店(売場主任)	単価の動き	・例年8月は閑散期であるが、前半はクリアランス目当ての客が入っていた。しかし高額の買物をする客が少ないため、売上は本当に悪い。
	百貨店(企画担当)	販売量の動き	・猛暑とオリンピックの影響で、来客数は大幅なダウンとなっている。
	百貨店(企画担当)	販売量の動き	・夏のクリアランスが終わり、店頭には秋物が出揃っているが、天候不良や猛暑のため秋物の出足は遅い。婦人服、紳士服、雑貨などをはじめ全体的に不振である。
	百貨店(企画担当)	来客数の動き	・オリンピック期間中は来客数が大幅に落ち込み、それに伴い売上も低迷している。さらに猛暑の影響で夏物が7月に売れすぎ、8月に入って夏物商材が不足していることも売上低迷に拍車をかけている。
	百貨店(外商担当)	来客数の動き	・オリンピックの影響で来客数がかかなり減っている。外商の訪問販売も厳しい。その結果、売上は予定をかかなり下回っている。
	スーパー(経営者)	それ以外	・今年は梅雨時に雨が少なく、また猛暑のため農作物が不作である。そのため農産物の価格が高く、客には割高にみえてしまう。
	衣料品専門店(経営者)	来客数の動き	・単価が低下しており売上は伸びない。
	その他小売[雑貨卸](経営者)	お客様の様子	・引き合いは多いが、注文にはなかなか至らない。
	高級レストラン(スタッフ)	お客様の様子	・平日の来客数が再び減少している。海外旅行の増加やオリンピックのテレビ観戦などの影響がある。
	スナック(経営者)	来客数の動き	・お盆休みとオリンピックの影響が想像以上にあり、人出がとても多い。

		スナック（経営者）	来客数の動き	・お盆明けは、オリンピックのテレビ観戦の影響で客が減っている。
		その他飲食〔仕出し〕（経営者）	販売量の動き	・猛暑の影響で弁当の販売量が減少している。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・天候のはっきりしない日が多く、レジャー部門の利用が特に悪い。
		旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・4月からの浜名湖花博で4～6月はかなりの客があったが、一巡して追い風がなくなっている。8、9月は昨年よりもやや弱含みで予約が入っている。
		理美容室（経営者）	来客数の動き	・客は必要な時しか来ない。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・相変わらず客の回転が悪い。
		住宅販売会社（経営者）	競争相手の様子	・8月に入ってから土地の売行きが悪い。
		住宅販売会社（企画担当）	お客様の様子	・チラシ広告などを入れても反響の数が非常に少ない。客の動きが悪い。
	悪くなっている	家電量販店（店員）	来客数の動き	・オリンピックや高校野球の観戦のため、昼も夜も客はまったく外出してこない。
		美容室（経営者）	それ以外	・お盆までは良い状況だが、その後はダウンしている。暑さが影響して例年の8月に比べて悪い。
		設計事務所（営業担当）	販売量の動き	・仕事が減っている。
企業 動向 関連	良くなっている	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・販売数量は増加しているが、原料高で採算は厳しい。
		輸送用機械器具製造業（工務担当）	受注量や販売量の動き	・1日の生産量が最高水準で推移している。不祥事があった他社からの顧客も流れてきており、海外でも高水準で伸びている。
	やや良くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量ともにやや増加している。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・主にタイル及び衛生陶器用の窯業原料の需要が増加しているため、売上は3か月前と比較して26.2%増収、経常利益は5.1%の増益である。
		電気機械器具製造業（営業担当）	それ以外	・工事案件の見積が増えつつある。これから年末や年度末に向けて工事は増えてくる。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・オートバイ、農機具などは毎年秋口から冬にかけての期間で来年分をまとめて生産するが、今年も春、夏季にも減産していない。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	取引先の様子	・得意先からの引き合いが、ここに来て大変増加している。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・貨物量は前年比で2けたの伸びを見せている。
		広告代理店（経理担当者）	取引先の様子	・顧客企業からの問い合わせ件数が増えている。
		行政書士	受注量や販売量の動き	・関与先の運送会社の出荷量が上昇している。
		その他非製造業〔デザイン〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・商品出荷は順調である。
	変わらない	鉄鋼業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注価格、販売価格は大幅上昇中だが、受注量、販売量はむしろ減少しつつある。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・原油価格の上昇が頭打ちにみえるが予断を許さない。鋼材の値上げ交渉、価格転嫁交渉もまだ決着に至っておらず、当面は懸念材料が山積している。
電気機械器具製造業（経営者）		受注量や販売量の動き	・国内販売は監視カメラなど市場の堅調さはあるものの価格競争が激しく、この半年間ほぼ同レベルで推移している。他の商品は今月が決算月で増加し全体として販売高は増加傾向であるが、その推移は例年同様である。	
電気機械器具製造業（従業員）		受注量や販売量の動き	・夏物セールは途中で失速しており、縫製に追加注文が入る状況にもない。次の季節物の生産も控えめで、設備を導入したにも関わらず好転はみられない。	
輸送用機械器具製造業（経理担当）		受注価格や販売価格の動き	・受注単価の高い商品の売行きはよいが、その程度は3か月前と大差はない。	

		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注単価は引き続き厳しい。受注機会は非常に多いが、単価が低すぎて受注に結び付くケースは非常に少なくなっている。
		輸送業（エリア担当）	受注価格や販売価格の動き	・客との運賃の値上げ交渉では、運賃の据え置き、あるいは値下げを求められる。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・取引先では会社の提携や合併が予定されている。従業員は将来に不安を感じる人が多い。
		金融業（企画担当）	取引先の様子	・海外取引が活発になっており、その関連業種では好況である。しかし業種によって好不況の差が大きい。
		広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・印刷媒体や電波媒体などの出稿量が少しずつ増加しているが、全体から見るとほとんど変わっていない。
		公認会計士	それ以外	・顧客企業の業績は、平均的にみて回復しているとは言い難い。地元信用金庫の貸出残高も減少傾向にあり、中小企業には積極的な資金需要は起きていない。
		経営コンサルタント	それ以外	・新規に宅地開発をする動きは、まだまったく見られない。
		税理士	取引先の様子	・各企業を訪問してみると、お盆休みをゆっくり取っている。休み前後もそれほど忙しく動いていない状況である。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・景気は底堅く動いており、新しいことを取り入れようとする動きは相変わらず強い。
	やや悪くなっている	金属製品製造業（従業員）	取引先の様子	・契約分の出来高請求や変更契約に対する客の対応が大変渋く、資金回収が思うようにいかない。
		電気機械器具製造業（従業員）	それ以外	・原材料入手先からの先行発注依頼が多くなっており、業界全体の動きが鈍い。
		輸送用機械器具製造業（統括）	受注量や販売量の動き	・受注量が少しずつ減少してきている。さらに単価についても非常に厳しい要請がある。
		広告代理店（従業員）	競争相手の様子	・品質本位の競争ではなく価格競争となっており、ダンピングが激化している。
	悪くなっている	非鉄金属製品製造業〔鋳物〕（経営企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・販売単価はなかなか上がらない一方で、原材料価格は上昇する傾向にある。
雇用 関連	良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・派遣依頼のオーダーが前年同月比で20%以上増加している。スタッフの人選が難しく、供給不足の状態が続いている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・今月の求人数は今年で一番多い。
		職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人数は減少しているが、大手企業の期間従業員の求人更新時期でないためである。しかし最近、これまで求人活動をしていなかった中小企業からも新規求人が多く出される。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・印刷関係、自動車関連メーカーや機械工具関連の求人意欲が非常に高まっている。
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・最近、紹介予定派遣の受注が増え、それに伴い正社員の採用をする企業が増えている。
		人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・今月の求人、求職の動きは当初の見込みを上回っていないが、順調に数字は伸びており、通常よりはやや良くなっている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・新聞の求人広告は例年なら8月は通常月より減少するが、今年は若干ながら増加している。求人がやや活発化している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・管内の有効求人倍率は3か月前に比べ、月間有効求人が10.3%増加し、月間有効求職者数が8.5%減少しているため3か月前に比べ0.21ポイント上昇の1.22倍となっている。前月に比べると、1.15ポイント上昇している。 ・新規求人の状況は、前年同期に比べ、建設業で15.5%、卸・小売業で9.8%減少しているが、製造業で24.5%、サービス業で15.2%、運輸・通信業で14.5%増加しているため、全体では7.5%の増加となっている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・全体の求人数は増加傾向にある。特に派遣や請負の求人数が飛躍的に伸びている。	

	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・猛暑の影響でエアコンや冷蔵庫の販売が好調で、例年なら8月中旬には期間満了となる家電メーカーの期間工の契約が延長されている。プリンター用トナー製造会社も売上は堅調で、新工場用に求人が出ている。
	職業安定所（管理部門担当）	求人数の動き	・来春新卒予定の高校生の求人は、前年同期比で、求人件数で30.5%、求人数で46.0%と大幅に増加している。
	民間職業紹介機関（経営者）	採用者数の動き	・大手メーカーが中途採用に本腰を入れてきており、採用数は増加している。
	民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・3か月前と比較すると、求人数は約2割強の増加である。
変わらない	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	雇用形態の様子	・軽雇用求人の需要は相変わらず高いが、正社員求人の需要は横ばいが続いている。 ・静岡、浜松では正社員の求人と求職者のバランスは取れているが、清水、焼津、島田などの中小都市では軽雇用の求人はおう盛だが正社員の求人が少なくバランスを欠いている。 ・中小企業では体力が弱いため、固定的な人件費の増加を避ける傾向が続いている。軽雇用、低賃金構造が定着しているため、特に中小都市では流通業も不振である。
	職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・求人数は4月から5月にかけて増加したが、その後は横ばいである。求人増加分は派遣、請負などであり、求職者の求める常用雇用は賃金、条件面で引き合わず、依然として厳しい状況が続いている。
やや悪くなっている	-	-	-
悪くなっている	-	-	-